

製作・脚本・監督・音楽・主演チャールズ・チャップリン

日本中を爆笑と感動の嵐でつつんだ《ビバ!チャップリン》の華麗なフィナーレに贈る最後の監督・主演作!



A KING IN NEW YORK
チャップリンの

ニューヨークの王様



ドーン・アダムス/マイケル・チャップリン/オリバー・ジョンストン/マクシーヌ・オードリー
撮影ジョルジュ・ペリナール/イギリス映画 東宝東和提供

2月14日 金曜 特別ロードショー

ヒビヤ 有楽座 <591> 5351

ニューヨークの王様

チャップリンの
A KING IN NEW YORK



東宝東和提供

●《ピバ/チャップリン》のフィナーレを飾る名作登場!

72年秋、「モダン・タイムス」で華々しく幕を開けた《ピバ/チャップリン》シリーズは日本中を爆笑と感動の涙で包み、延べにして800万人の足を劇場へ運ばせた。そして今、その華麗なフィナーレを迎えようとしている。有終の美を飾って登場するのはチャップリン最後の監督・主演作でもある「ニューヨークの王様」である。

●“アカ狩り”の非米活動委員会を怒らせたチャップリン!

アメリカに亡命したある国の王様が見たものは、話に聞いていたアメリカのあまりにも違いすぎる現実だった。不自由な自由にも異常に発達したコマーシャルイズム……。

現代アメリカを痛烈な皮肉で笑いとばしたこの映画は当然当局をいたく刺激し怒りを買った。1940年「独裁者」でファシズムを、1947年「殺人狂時代」で戦争の大量殺人を告発して非米活動委員会から“アカ”の烙印を押されたチャップリンはついにアメリカを去ることになる。そのアメリカへの怒りと失望をこめて、ロンドンのシェパートン撮影所で完成させたのは1957年だった。

●構想3年、主に英・仏で固めたスタッフ・キャスト!

例によってチャップリン自身が3年にわたり構想を練ってシナリオを書き、製作・監督・作曲・主演から美術・衣裳・編集まで指示を与えている。相手役には「続・殺しのライセンス」などの英国の美人スター、ドーン・アダムス。チャップリンに見出されて以来スターダムについたラッキーな女優である。又当時11才の愛息マイケル・チャップリンが出演、名演技と可愛い瞳を見せてくれる。脇もほとんど英国の映画・演劇俳優である。撮影はフランスの名手G・ペリナル。主題曲「マンドリン・セレナーデ」は映画音楽史上の名曲だ。

●王様が夢みていた自由の国アメリカとは……

革命のためアメリカへ亡命して来たシャドフ王は憧れの自由の国に着いた喜び一杯、ニューヨーク空港に降りたった。だが入国手続きに指紋をとられ、騒々し



い街に出ればロックに狂う若者やエロ・グロ暴力映画の氾濫にうんざり。その上財産をそっくり持ち逃げされて無一文。ホテルで頭をかかえ込む王様。そこへ隣の部屋から悩ましい女の歌声が……

●異常に発達したマス・メディア、氾濫するコマーシャルイズムに王様は……

これが、TV司会者アン・ケイの計略とは知らずに仲よくなった王様はまんまと彼女のTV番組に出演させられ、知らない間にCMの片棒までかつがされていた。おかげで王様は一晩で全米の人気者。CM出演依頼が殺到した。最初は出演を断りつづけた王様も背に腹はかえられない。ついにウイスキー会社のCMに出演。本番でむせかえって大失敗かと思いきや、それが皮肉にもバカ受けしてスポンサーは大喜びだ。

●孤独な天才少年と王様の心暖まる友情……

そんな事でやっとお金にゆとりができたある日王様は児童の創造力を伸ばすユニークな学校を訪問した。そこで10才にしてマルクスを読む天才少年ルパートに討論を挑まれタジタジ。

数日後王様はホテルの前を寒さにふるえながら通りかかったルパート少年を見つけ保護した。両親が共産主義者の疑いで非米活動委員会につかまり、少年自身も追われているという。だが間もなく少年は逮捕され、王様も委員会に呼び出された。

●さらば自由と民主主義の国——王様のアメリカへの失望は大きく……

委員会に出席する途中、消火ホースをいたずらした王様は、ホースから指がぬけなくなり、そのまま委員会へ。ところがホースを見た守衛が火事だと思って消火栓につないだから大変。委員会は水びたし。

それでもなんとか王様、ルパート一家は放免となった。だが、王様はもはやアメリカに全く失望していた。王妃の待つパリへ行こう。機内から見るニューヨークがたちまち小さく遠ざかって行った。